

○令和7年度第2回歴史資料館協議会 議事録

開催日	令和7年12月17日(水)	
開催時間	15時20分～16時19分	
開催場所	小城市立歴史資料館 2階 研修室	
出席者	委員	村岡委員長、志佐副委員長、藤口委員、岡本委員、中村委員
	事務局	大野教育長、田久保課長、本村副課長、古庄、松尾
議事	I 令和7年度 歴史資料館事業経過報告 II 令和7年度 歴史資料館事業の今後の計画について III 千葉開府900年展示会事業について	
欠席委員	野中委員	
傍聴者	なし	

【会議の公開・非公開について】
 市の「審議会等の会議の公開に関する指針」に従い、公開で開催

発言者	内容
委員長	<p>現在の傍聴者0人です。</p> <p>それでは、次第に沿って進めていきます。議題1令和7年度歴史資料館事業経過報告について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>P1をご覧ください。1. 令和7年度歴史資料館事業経過報告について説明します。</p> <p>まず、1. 歴史資料館協議会についてですが、第1回を令和7年5月13日(火)15時30分から、歴史資料館研修室で開催しました。出席者は資料に記載している方々4人が出席されました。議題として、令和6年度歴史資料館事業報告についてと、令和7年度歴史資料館事業計画について審議をしていただきました。次に、第2回を今日の令和7年12月17日(水)15時20分から開催しています。</p> <p>続きまして、2. 展示会について報告いたします。(1)常設展については、小城の歴史と文化をテーマごとに古代から現代まで紹介をしています。また、「テーマ展示コーナー」では、テーマに沿った資料を展示しています。展示資料につい</p>

ては、定期的に一部入替を行っているところです。令和7年度入館者数は、11月30日現在2,364人です。今年度の展示内容につきましては、1回目は、5月31日(土)から8月31日(日)に「戦時資料展」というテーマで戦後80年の節目に小城と太平洋戦争にかかわった資料を紹介しました。2回目は、9月6日(土)から11月23日(日)まで「小城の武道」というテーマで小城の地で新陰流を伝承した西小路鍋島家に伝わった、新陰流関係の資料を紹介しました。3回目は、11月29日(土)から2月23日(日)に「思えども肥前の小城は猶遠し(なおとうし)」というテーマで、高田保馬の書簡から見る与謝野寛と晶子の交流に関する資料を紹介しています。

次に、(2)企画展について説明します。企画展については、令和6年度からの続きになりますが、3月8日(土)から5月11日(日)の会期で、「桜岡公園から150年」というテーマで、小城公園の前身「桜岡公園」設立から150年の節目に小城公園の歴史を紹介しました。入館者は442人でした。次に、6月7日(土)から7月13日(日)に、「新収蔵品展～令和六年度、当館において収蔵した資料を紹介～」として令和6年度に寄贈等により収集した資料を紹介しました。入館者数は235人です。次に、7月20日(日)から8月31日(日)にかけて、「空・創・感、現代を描く郷土の表現者たち第8弾」として、小城市を拠点に活動している芸術家7人の作品の展示を行いました。入館者は493人でした。また、期間中出品者によるワークショップを8月10日(土)と8月23日(土)の2回行っており、2日間で32人の参加がありました。次に、P5をご覧ください。9月6日(土)から10月19日(日)にかけて「小城市内遺跡発掘調査成果展『おぎを掘る19』豊穣(ほうじょう)への祈り」と題して、小城に住んでいた人々が豊穣を願い、収穫に感謝して執(と)り行ったマツリに関連する遺物や農耕に使用された遺物を紹介しました。入館者数は452人でした。また、期間中ではなかったですが、関連事業として11月8日(土)に土生公園まつりとして「親子でデーキャンプ」を開催しました。5家族(組)20人の参加があり、火おこし体験や発掘調査体験などを体験してもらいました。また、11月29日(土)に開催した文化財フォーキング2025～小城隕石の落下地点を巡る～」を開催し15人の参加がありました。

次に、10月31日(土)から12月14日(日)にかけて、「佐賀大

学・小城市交流事業特別展『安定から動乱へ』を開催し、佐賀大学附属図書館所蔵「小城鍋島文庫」などからの資料を紹介し、小城藩歴代藩主とその時代について紹介を行いました。入館者は738人でした。さらに、関連行事として、11月22日(土)と12月13日(土)の2回講演会を行いそれぞれ28人、30人の参加者がありました。

次に、P6をご覧ください。3. 講座について説明いたします。先ず、(1)古文書(こもんじょ)講座ですが、令和7年度は毎月第4土曜日に開催しました。今回は、「三岳寺文書」をテキストとし講座を行い、56人の登録がありました。また、講座の模様は録画を行い小城市的ホームページからYouTubeで公開しました。次に、(2)小城の歴史講座についてですが、9月6日(土)に佐賀女子短期大学名誉教授の高島忠平氏に「小城土生遺跡発見の力士土偶」と題し講演会を、10月11日(土)に佐賀県立佐賀北高等学校教諭の徳廣彩佳(あやか)氏に「梧竹をつなぐ」と題し講演会を開催しました。参加者は「小城土生遺跡発見の力士土偶」の講演会が36人、「梧竹をつなぐ」の講演会が31人でした。

次に、P7をご覧ください。4. 資料収集につきましては、寄贈、寄託により小城市関連の資料の収集を行っています。寄贈につきましては、黄檗宗(おうばくしゅう)関連資料、入角花杏葉紋刀箱(いりすみはなぎょうようもんかたなばこ)・脇差拵(わきざしこしらえ)、刀剣・龍土水(りゅうどすい)。寄託として刀・絵画などを寄託していただいています。詳細につきましては、資料を参照してください。

次に、5. 団体との連携ですが、市内の文化団体に展示室や展示ホールでの展示の呼びかけや講師派遣を行いました。

次に、6. その他ですが、①収蔵刀剣手入(ていれ)についてですが、現在、歴史資料館で収蔵している刀剣を定期的に手入れを行い、二振り程度を4週間、季節ごとに展示を行っています。

②元寇所縁(ゆかり)のネットワークについてですが、令和6年4月22日(月)に長崎県松浦市の呼びかけで、「元寇所縁のネットワーク」の発足式が行われ、7県25市町が加入しています。今年度は11月19日(水)に松浦市で元寇所縁の子

	<p>どもサミット、首長会議が開催され、元寇で活躍した鎌倉武士に所縁のある地域小学校5校が発表されました。</p> <p>令和7年度歴史資料館事業経過報告については以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>議案1 令和7年度歴史資料館事業経過報告について、事務局から説明をしていただきました。このことについて、何か質問はありませんか。</p>
藤口委員	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ展『思えども～』について、『(号・鉄幹)』と入れた方がわかりやすい。 ・新陰流の資料は寄託？
課長	そのとおり
藤口委員	歴史講座について、高島先生の講演で「力士土偶」と題しているが、正式名称は人型土偶ではなかったか。名称変更するということか。
課長	先生の仮説として講演では力士土偶と称されていた。本当に力士をかたどったものだと確定しているわけではない。出土品としての名称を人型土偶から変更するということではない。
岡本委員	傍聴人0だが、どのようなPRしているか
課長	HPで1週間から10日前に公表している
岡本委員	HPへの掲載だけか
課長	HPのみ
岡本委員	<p>もう少し積極的に呼びかけしてほしい。市民に関心持って聞きに来てほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元寇ネットワーク事業について、今後どのような流れになるのか。DVD作るなど何らか成果を残してほしいが。
課長	会議では加盟自治体で協力して映像資料を残していくという意見が出た。松浦市長からは、7年後の弘安の役750年に向けて映像資料残していくとの考えを聞いている。
教育長	今回参加したが、松浦市の考えとしてはどちらかというと、まちづくりに生かしてほしいというスタンスに感じた。教育に生かすのは別途考えていく必要ある。ネットワーク全体としてまとめていくのは難しい。活用していく価値はあると思う。

岡本委員	先細りしないようしっかり活用・取り組みしてほしい ・退職校長会の見学があったということだが、新任教師に対して紹介するような取り組みは。
課長	小城に新しく赴任してきた先生たちに（小城の歴史を）紹介するというようなことは過去に取り組みがあった。近年はない。
岡本委員	例えば芦刈の子が芦刈の歴史を知らない、教える立場の先生たちもよく分かっていない（市外から赴任など理由は様々あるが）。なんらか取り組みを。
教育長	自身も気になっている。先日校長会をここ（桜城館）で行い施設も少し見てもらったが、来たことがない校長も多い。地域には岡本委員のように詳しい人もいる。ゲストティーチャーとして呼ぶなどの取り組みがあってもいいと思っている。先生たちも授業で担当にならないと来ない・知らない。できることから取り組んでいきたい。
岡本委員	ぜひ取り組みを。 ・調査報告書は（一般向けには販売しているが）配布対象としてはどこに送っているか
課長	県内資料館など
岡本委員	過去に作成したもので在庫が大量にあるものは無料で配布してはどうか。 公費で印刷しているが、発行から数年たつと購入は減ると思う。数年経過した時点でその時点で無料配布に切り替えては。
副委員長	SNSの発信により来館者数が増えたとかあるか
課長	実感としてはあまりないが、「いいね」が増えたり、フォローが増えたりしているのは励みになっている。とにかくまずは投稿を増やしていくこうと思っている。
委員長	文化財ウォーク参加した。熱心に解説してもらった。山野辺の道の整備がされていないのが残念。 所管も違い（所管課：商工観光課）、実際問題難しいとは思うが、整備を。
課長	商工観光課にも意見については報告する
委員長	それでは、議題2令和7年度歴史資料館事業の今後の計画について事務局から説明をお願いします。

事務局	<p>P9をご覧ください。令和7年度歴史資料館事業の今後の計画について説明いたします。</p> <p>まず、1. 展示会の（1）常設展についてですが、事業報告でもご説明しましたが、11月29日（土）から2月22日（日）まで、「思えども肥前の小城は猶遠（なおとおし）～与謝野夫婦と高田保馬の交流～」について展示を行っています。次に、3月7日（土）～5月31日（日）まで、「家紋入り道具展」として、小城鍋島家の（家紋が施されている）道具について紹介する予定にしています。</p> <p>次に、（2）企画展についてですが、令和8年1月10日（土）から3月1日（日）まで「くらしのうつりかわり展」を計画しており、市内小学校3年生が見学にこられ、社会科の授業に使われています。また、展示案内に市民学芸員の方にも協力ををしていただいてもらっています。</p> <p>次に、2. 講座についてですが、古文書講座を毎月1回程度開催します。また、小城の歴史講座を2月7日（土）14時から高田保馬博士について、鎮西学院大学教授吉野浩司氏の講演会を行う予定にしています。また、特別講演会として、1月24日（土）「肥前千葉市の本拠と地域支配」と題して国立歴史民俗博物館土山祐之（ゆうし）氏に講演をお願いしているところです。</p> <p>次に、P10をご覧ください。3. 刊行物刊行ですが、3月に、「調査研究報告書第19集」を刊行する予定です。4. 資料収集については、今後も引き続き行いたいと考えています。また、5. 団体との連携も隨時呼び掛けたいと考えています。6. その他ですが、①収蔵刀剣の手入についても、今後定期的に行っていきたいと考えています。</p> <p>令和7年度歴史資料館事業の今後の計画についての説明は以上です。</p>
委員長	<p>今、事務局から議案2 令和7年度歴史資料館事業計画について説明を受けましたが、このことに何か質問はありませんか。</p>

藤口委員	家紋入り道具展について、(家紋入りのものは) サイズ大きいものが多いのでは
課長	文箱など漆塗りのものなどを紹介しようと考えている
副委員長	くらしのうつりかわり展について、市民学芸員の協力を得るとある。前にも言ったが、補充がされていない状況だが、新たに補充は考えていないのか。
課長	現時点では計画していない。何らかの形で補充したいとは考えている。
藤口委員	活動人数は現在何人いるか。
課長	くらしのうつりかわり展で協力をお願いしている方は3名
副委員長	いい制度だと思うので、後に続く方が出ればいいと思う。
委員長	それでは、議題3千葉開府900年展示会事業について事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>議題3千葉開府900年展示会事業についてご説明いたします。</p> <p>令和8年度は、千葉県千葉市で千葉開府900年として千葉氏をクローズアップする取り組みが計画されています。また、中林梧竹の生誕200年の前年に当たります。このような中で、令和8年度は、歴史資料館、中林梧竹記念館では中林梧竹生誕200年に向けての取り組み、千葉開府900年に伴う千葉氏の再認識の機会とし、中林梧竹記念館では梧竹生誕200年に向けた取り組みを行ってまいりたいと考えています。</p> <p>令和8年度9年度スケジュールをご覧ください。</p> <p>千葉氏の関する展示としましては、「千葉氏が小城に伝えたもの」と題しまして、関東御家人である千葉氏が千葉に拠点を置いて900年にあたる年で、千葉氏をクローズアップする機運が高まっています。また、小城祇園山挽行事が710年に当たる年もあります。小城でも、小城固有の歴史や文化を形成した一つの要因に千葉氏が関わっていたことや千葉の原風景が小城に残っていることを、小城市民をはじめ多くの方に再認識していただく機会として、展示会を開催したいと考えています。展示資料については、収蔵資料だけでなく市内</p>

	<p>寺院や神社などの協力を得て、伝来する資料や、外部施設からの借用資料を紹介したいと考えています。</p> <p>会期中は、千葉氏の研究者による講演会や千葉氏ゆかりの地を巡るフィールドワークを開催したいと考えています。</p> <p>また、佐賀大学と小城市的交流事業では、肥前千葉氏が保護を加えた三間山円通寺に伝わる古文書や関連資料を通して、千葉氏や円通寺が小城とどのように関わってきたかを紹介する展示会を考えております。会期中は、展示テーマに合わせた講演会を開催したいと考えております。</p>
委員長	それでは、議題3 千葉開府 900 年展示会事業について事務局から説明を受けましたが、このことに何か質問はありますか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉宗胤のお墓が大門のところにあるが野ざらし状態。710年を機に屋根つけてもらえれば。 ・現千葉市長は以前佐賀にいた。県庁でも現小城市長と一緒に仕事をされている。関係ができている。いい機会なので上手に活用して頑張ってほしい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・来年は祇園社が須賀神社になって 150 年。併せて何かできないか。いい機会なので考えてほしい。
課長	千葉氏と関連付けて展示の中で紹介できれば